

『国府台経済研究』

- 第28巻第1号「観光による地域の活性化—千葉県を例に特集号」2018年3月
執筆担当者:鈴木孝男・大塚先・和田義人・齊藤紀子・櫻井和典・伊藤康・丸浜千紘・佐藤千里
- 第28巻第2号「我が国における Business Economics 研究領域の受容と今後の方向性について特集号」2018年3月
執筆担当者:平井友行・麻生幸
- 第29巻第1号「企業が期待するほど若者たちが関心を寄せないサービスについての研究特集号」2019年3月
執筆担当者:吉田優治・今井重男・宮澤薫・松本大吾・西根英一
- 第30巻第1号「消費スタイルの新潮流:倫理的消費とボランティア・シンプリシティ特集号」2020年3月
執筆担当者:大平修司・増田明子
- 第30巻第2号「地域活性化に対するアートの役割について特集号」2020年3月
執筆担当者:吉羽一之・権永詞・榎沢順・赤松直樹

『中小企業支援研究』

発行 経済研究所 中小企業研究・支援機構

- Vol.1(創刊号)「特集:アベノミクスと中小企業」2014年3月
別冊Vol.1 経営者インタビューほか 2014年9月
- Vol.2「中小企業の魅力づくり」ほか 2015年3月
別冊Vol.2 経営者インタビューほか 2015年9月
- Vol.3「中小企業の事業承継～後継者育成と支援施策の着眼点～」ほか 2016年3月
別冊Vol.3 経営者インタビューほか 2016年9月
- Vol.4「地域資源活用による活性化～若者(大学生)・よそ者(プロデューサー)目線の活用で地方創生～」ほか 2017年3月
別冊Vol.4 経営者インタビューほか 2017年9月
- Vol.5「中小企業の成長と地域金融機関の融資」ほか 2018年3月
別冊Vol.5 経営者インタビューほか 2018年9月
- Vol.6「大廃業時代の中小企業支援のあり方」ほか 2019年3月
別冊Vol.6 経営者インタビューほか 2019年9月
- Vol.7「中小企業の人手不足とダイバーシティ・マネジメント」ほか 2020年3月

『CUC View&Vision』

- 第40号「特集—福祉と介護」
2015/Sep.,全68ページ。
- 第41号「特集—中国経済と社会」
2016/Mar.,全62ページ。
- 第42号「特集—大学のマーケティング力で市場をつくる—産学連携による商品開発—」
2016/Sep.,全60ページ。
- 第43号「特集—エンターテインメントビジネス—」
2017/Mar.,全78ページ。
- 第44号「特集—女性の活躍が地域社会を変える—」
2017/Sep.,全58ページ。
- 第45号「特集—千葉商科大学学長プロジェクト—アカウンタブルな社会・経済への千葉商科大学の貢献—」
2018/Mar.,全68ページ。
- 第46号「特集—変化の時代を生き抜くFinTech活用」
2018/Sep.,全52ページ。
- 第47号「特集—SDGs最前線」
2019/Mar.,全82ページ。
- 第48号「特集—EBPMと行政事業レビュー」
2019/SEP.,全72ページ。

『Research Paper Series』

- No.73「仮想通貨の一研究 ～ビットコインの会計と税務～」児島記代
2017/Mar.,全34ページ。

■経済研究所、中小企業研究・支援機構の最新情報、活動中の研究プロジェクトの概要や研究成果及び刊行物の内容は次の経済研究所ホームページ上でご覧いただけます。

[URL]<https://www.cuc.ac.jp/keiken/>

編集後記

本号の特集は「空き家対策」をテーマとしたが、それを決めたのは昨年7月に行われたCUC政策研究フォーラムの当日であった。このフォーラムは本学大学院の政策研究科(博士課程)の主催で行われたものであるが、当日の議論がとても興味深いものだったため、これを誌面で残しておきたいと考えたのである。私が特に重要だと感じたのは、空き家問題に地域包括ケアシステムやコンパクトシティ構想が絡み、いずれも「地域」に大きな役割が期待されているものの、地域のコミュニティはもう崩壊してしまっているのではないかと、との問題提起であった。つまり、どうやって地域社会を再構築し、それを空き家対策や福祉の充実につなげていくのか、という問題意識がこの特集の根底にある。

他方、編集が終盤に差し掛かるにつれて、新型コロナウイルスの問題が世界を席卷しはじめた。日本でも、当初は水際対策として帰国者の隔離や一部外国人の入国拒否などを行っていたが、徐々に感染が広がると、一斉休校やイベント自粛といった国内の人の動きを制限する対応へと発展し、3月11日に予定されていた東日本大震災の追悼式も中止となった。本号でも五十嵐氏(特集)、山田氏(リサーチ&レビュー)、滝澤氏(トピックス)がそれぞれの論考のなかで言及しているように、あの震災とその復旧・復興プロセスは現在においても多くの教訓や示唆を与えているが、おそらく今回の感染症も今後たびたび振り返ることになるだろう。何とかこの苦境を乗り越え、将来の糧としていかなければならない。

千葉商科大学政策情報学部教授 経済研究所長

小林 航